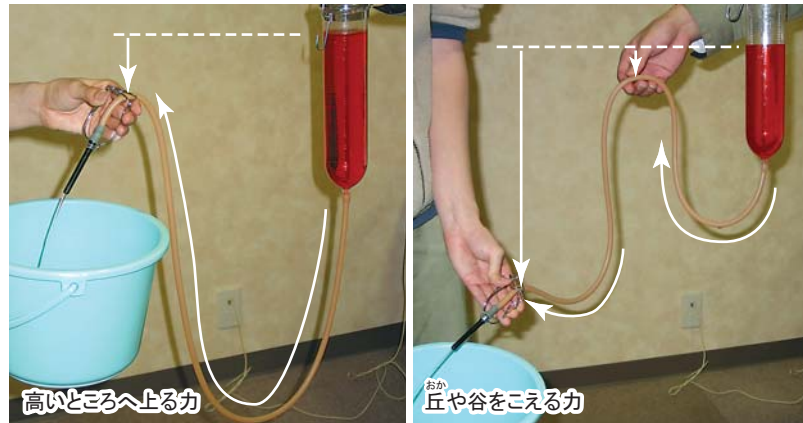


# 10. どうやって水を送るの? - 水を送る「力」



一部を見れば上っているが、全体的には下っている。

## (1) 多くは高さを使って

近くに配水池があったら、場所を見てみてください。多くの配水池は、水を使うところよりかなり高いところ(丘の上など)にあります。

これは、高さを使うことで水に力をかけて送るためなのです。

高いところにある水は、管を通っていると、もとの高さにまで上がろうとします。多くの配水池はこの力を使って水を送っています。



水をため、高さの力で流す水洗トイレ。

## (2) 「なかとかち浄水場」も高さを使う

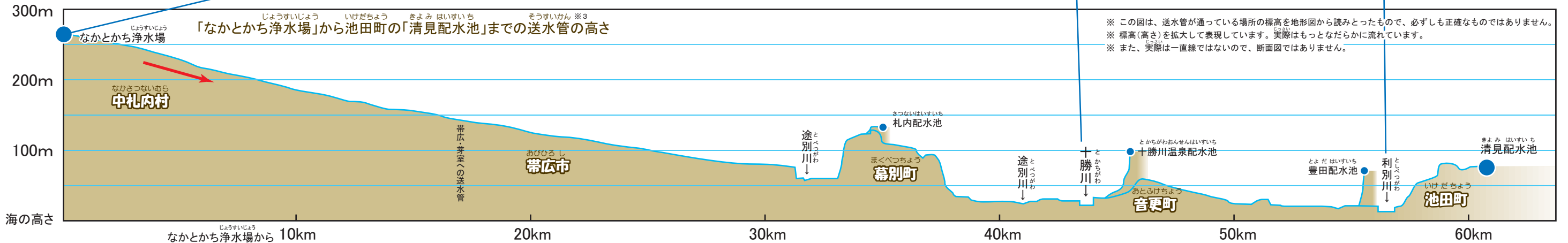
「なかとかち浄水場」から池田町の配水池までは、60km以上あります。これだけの距離になると、機械の力で送っているのでしょうか?

実は、これも高さの差を使っています。

浄水場のある上札内は、丘の上のようではありませんが、池田の配水池より、およそ190mも高い位置にあります。この差を使うことで、水は丘をこえ、川の下をくぐり、斜面を駆け上って、配水池までたどり着いているのです。

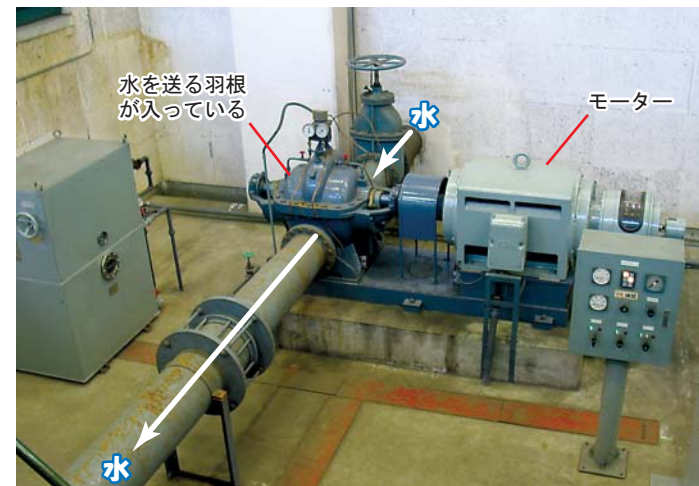


なかとかち浄水場。

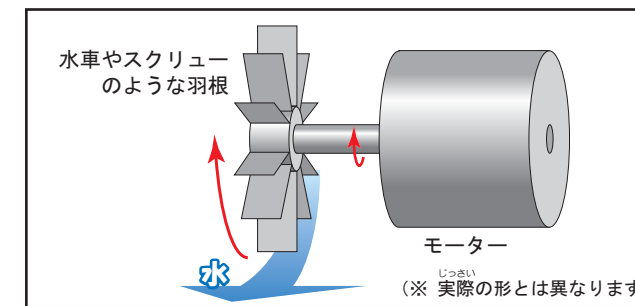


※ この図は、送水管が通っている場所の標高を地形図から読みとったもので、必ずしも正確なものではありません。  
※ 標高(高さ)を拡大して表現しています。実際はもっとなだらかに流れています。  
※ また、実際は一直線ではないので、断面図ではありません。

参考「十勝中部広域水道用水供給事業計画一般平面図・みずのたび(リーフレット)」十勝中部広域水道企業団、2002



稲田浄水場のポンプ。モーターの力で羽根を回し、水を各家庭などに送っている。



水を送るポンプのイメージ。本物は、水や空気がもれないようにしてあり、また、力が水にかかるような工夫がしてある。

※ 協力・問い合わせ：稲田浄水場 0155-48-2802



十勝川。



利別川。

## (3) 「稲田浄水場」はポンプで送る

「稲田浄水場」は札内川の近くにあり、なおかつ住宅地、市街地の近くにあり。

川の近くでも上流に行けばかなり高くなるのですが、稲田浄水場のあるあたりだと、水を多くの家などに送るためには高さが足りません。

そこで、稲田浄水場からはポンプの力で圧力(おしこむ力)をかけて水を送っています。

注意!!…浄水場などの施設には、勝手に入ってはけません。見学などしたい時には、先生を通して事前に相談してからにしましょう。



水でっぽう。仕組みはちがうが、水を送り出すポンプの一種。

川で行われた大きな工事

川につながるふだんの暮らし

川につながる農業

川につながる漁業や工業

川で行われた大きな工事

川につながるふだんの暮らし

川につながる農業

川につながる漁業や工業

付録

付録

※1 配水池(はいすいち): 水の使用量は時間によって変わるので、それに対応できるように水道水をためておく池。

※3 送水管(そうすいかん): 水道施設の場合、浄水場(※2)から配水池(※1)まで水を送る管。